

御製 五首

平成五年

沖繩平和祈念堂前

激しかりし戦場の跡眺むれば平らけき海その果てに見ゆ

奥尻島

壊れたる建物の散る島の浜物焼く煙立ちて悲しき

故ボードウワン国王御葬儀参列

四十年をむつみ過ごししベルギーの君まさずして宮訪ねけり

ベルリン

東西を隔てし壁の払はれて「歓喜の歌」は我を迎ふる

勤労奉仕の人々に会ひて

地方より奉仕作業に來し人に痛みつつ聞く長雨のわざ

第四十四回全国植樹祭

沖縄県

弥勒世よ願て揃りたる人たと戦場の跡に松よ植ゑたん

第四十八回国民体育大会秋季大会

徳島県・香川県

香川の火徳島の火をかがげつつ選手ら二人炬火台に向かふ

第十三回全国豊かな海づくり大会

愛媛県

県の魚まだひの稚魚を人々と共に放しぬ伊予の海辺に

皇后陛下御歌 三首

平成五年

東宮の婚を祝ひて

「兼題「青葉の山」」

たづさへて登りゆきませ山はいま木々青葉してさやけくあらむ

御遷宮の夜半に

秋草の園生そのふに虫の声満ちてみ遷りうつの刻次第ときに近し

移居

三十余年君と過ぎ来こしこの御所に夕焼ゆの空見ゆる窓あり